

質問通告・内容一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問議員	通告の標題・内容
1	狩野正雄	<p>◎人手不足解消への取り組みについて</p> <p>産業の担い手不足は農業関係、土建業など多くの事業者にとって深刻な問題である。</p> <p>担い手を確保し、定住者を呼び込むためには生活のサポートをする体制が必要と考える。</p> <p>また、農作業繁忙期の作業員確保にも苦労しているので、人材確保のために各方面へのPRが必要である。</p> <p>(1) 役場に開設した職業紹介窓口への問い合わせや実績は。</p> <p>(2) 生活支援として作業員寮を開設する考えは。</p> <p>(3) 担い手確保のために、事業者・関係機関・労働者によるワークショップを行う考えは。</p>
2	山口優子	<p>◎コミュニティスクール（学校運営協議会の設置）について</p> <p>平成30年度から導入されるコミュニティスクール（学校運営協議会制度）は、学校運営や学校の課題に対し、広く保護者や地域住民が参画できる仕組みである。</p> <p>(1) 制度を導入するメリットをどう考えるか。</p> <p>(2) 委員の選出方法、人数、任期は。</p> <p>(3) 「協議会委員は学校運営や教職員人事に一定の権限を持ち、学校長とともに学校運営の主体者である」とされるが、役割の範囲は。</p> <p>(4) 人材確保、委員の研修についての考えは。</p> <p>(5) コミュニティスクールの実施においては保護者・地域住民の理解が必要だが、説明会の予定は。</p> <p>(6) 協議内容や結果に関する情報提供はどのように行うか。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
3	安藤幹夫	<p>◎グローバル社会における農業施策は</p> <p>E P AやT P P 1 1 は本町農業に多大な影響を与えると考える。</p> <p>さらに、I C Tを活用した食糧生産が図られるなど、農業環境が目まぐるしく変化する中、本町では新しいシステム・技術・機械の導入等で高い生産性を実践している。</p> <p>しかし、さらなる盤石な農業を構築するため、将来を見据えた新たな技術や情報の収集、調査研究が必要と考える。</p> <p>(1) グローバルG A P（農業生産工程管理）の認証取得に向けた取り組みは。</p> <p>(2) 現状では遊休農地ゼロだが、拡充に向けた検証の必要性は。</p> <p>(3) A I 農業（農業情報科学）の高度化を実現するための研究を関係機関とともに進める考えは。</p>
4	畑 久雄	<p>◎道の駅しかおいの拡充について</p> <p>オープンして15年が経過したが、売り上げは最盛期の2割減となっている。</p> <p>道の駅しかおいを太いパイプとし、来町者の増加につなげる必要があると考える。</p> <p>(1) 店舗・トイレ・ふるさと納税の受付・観光関係等を一体化する考えは。</p> <p>(2) 町民ホール・神田日勝記念美術館・役場庁舎等、周辺の建物より見劣りし、狭く感じるが。</p> <p>(3) 特色のある飲食店を生かす工夫が必要と考えるが。</p>